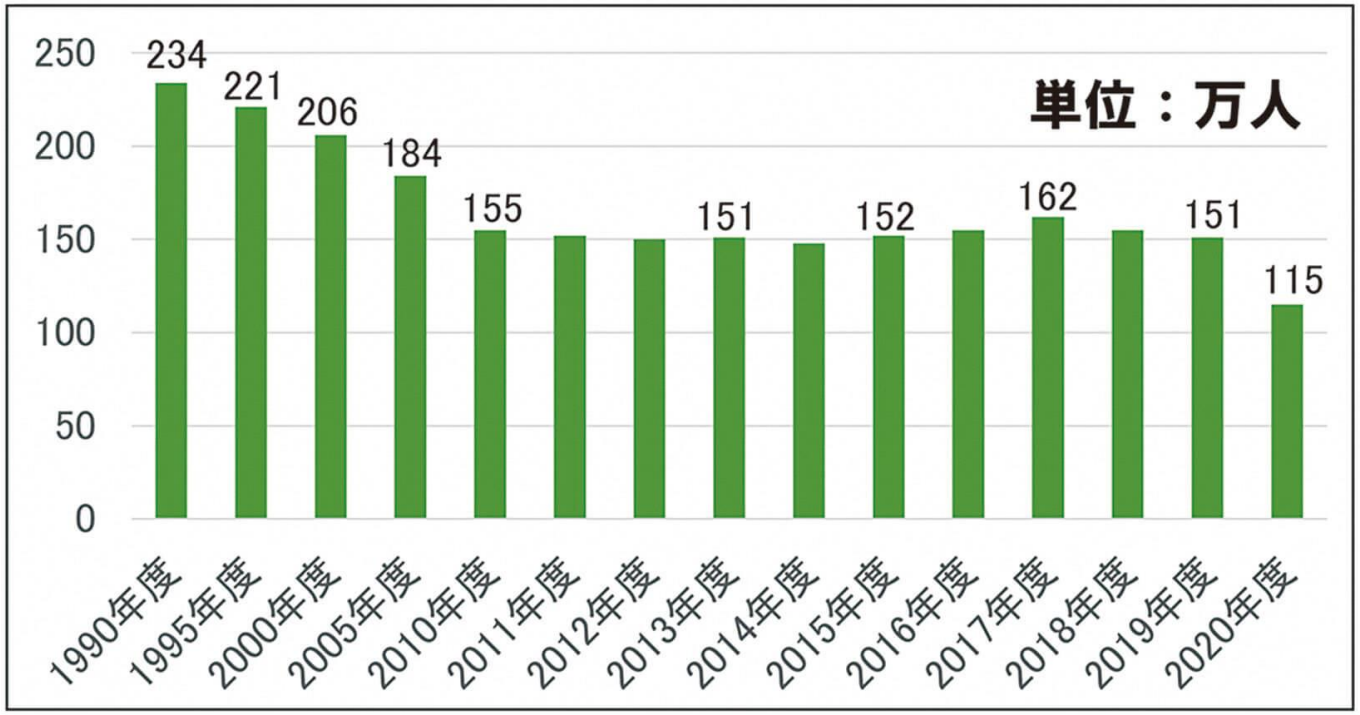
天竜浜名湖鉄道を
満喫するツアー

天竜浜名湖鉄道とは

天竜浜名湖鉄道のホームページより引用

- 天竜浜名湖鉄道は、掛川駅から新所原駅までを結ぶ路線で、浜名湖の北を通っている
- かつては日本国有鉄道（国鉄）の路線であったが、国鉄が不採算路線として経営分離し、現在は第三セクター鉄道になっている（鉄道運行の赤字分を県や沿線市町村が補うことで存続している）

天竜浜名湖鉄道の課題



天浜線輸送人員推移（静岡県統計年鑑より作成）

- 天竜浜名湖鉄道の乗客数は2010年頃まで減少傾向が続き、新型コロナ流行前の2019年度でも1990年度の約3分の2しかない

沿線の将来の人口

将来推計人口(上段)と5年ごとの増減率(下段)

単位　上段：人　下段：%

	2020年(R2)	2025年(R7)	2030年(R12)	2035年(R17)	2040年(R22)	2045年(R27)	2050年(R32)	増減率(2020～2050)
浜松市全域	790,718	772,254	752,174	730,724	707,669	683,036	657,052	-
	-	-2.3%	-2.6%	-2.9%	-3.2%	-3.5%	-3.8%	-16.9%
旧天竜区	26,726	23,663	20,828	18,208	15,790	13,563	11,535	-
	-	-11.5%	-12.0%	-12.6%	-13.3%	-14.1%	-15.0%	-56.8%
旧北区	92,688	90,551	88,013	85,197	82,080	78,641	75,178	-
	-	-2.3%	-2.8%	-3.2%	-3.7%	-4.2%	-4.4%	-18.9%

※日本の地域別将来推計人口(2023(令和5)年12月推計)＜国立社会保障・人口問題研究所＞による

浜松市ホームページより引用

- 天竜浜名湖鉄道沿線の主要地域である浜松市(旧)北区と天竜区では人口が今後も一貫して減少し、減少の速度は加速すると予想されている
- 特に天竜区では2020年からの30年間で半分以下に減少

→今後は生活利用者数が急速に減少すると予想される

事業の方向性

- 天竜浜名湖鉄道の沿線人口は今後も減少傾向が続き、生活での利用者数は今後も減少が予想される

→このままでは利用者数の減少に伴って鉄道運行による損失が増大し、沿線市町村の負担増加や、場合によっては廃止も考えられる

- そのため、天竜浜名湖鉄道を使ったツアーを実施して、天竜浜名湖鉄道の認知性を高め、観光客を増やすのが目的

ツアーの概要

- 天竜浜名湖鉄道掛川駅の改札口に8時15分に集合
- 中央公園のC58-49蒸気機関車を見学（掛川駅から徒歩：片道約10分）

※天竜浜名湖鉄道の茶畑きっぷ（掛川～西鹿島乗り放題）又は1日フリーきっぷを持っていない人は出発前に茶畑きっぷを購入

- 掛川駅8:56発の列車に乗って細谷駅（9:08着）で下車
- 細谷駅からいこいの広場駅まで徒歩（約700m：1駅戻る）

※一度に同じ路線の2つの駅が見える珍しい場所に立ち寄る。また、春は桜並木がきれい

- いこいの広場駅9:42発の列車に乗って天竜二俣駅（10:19着）で下車

ツアーの概要　続き

- 天竜二俣駅前にあるC58-389蒸気機関車を見学した後、10:50から開催される「転車台&鉄道歴史館見学ツアー」に参加（11:30頃終了）
- 天竜二俣駅11:44発の列車に乗って遠江一宮駅（11:59着）で下車
- 遠江一宮駅の駅舎内にある百々や（手打ちそば）で昼食

※ローカル鉄道の駅舎に食堂があること自体が全国的には珍しい

また、遠江一宮駅の駅舎は登録有形文化財に登録されている

- 遠江一宮駅13:01発の列車に乗って原谷駅（13:17着）で下車

※原谷駅には長いホームベンチがあり、また駅舎は登録有形文化財

- 原谷親水公園を散策した後、原谷駅に戻ってきて15:00頃解散（天竜二俣方面は15:05発、掛川方面は15:23発の列車がある）

中央公園C58-49蒸気機関車

天竜二俣C58-389蒸気機関車

※ 権利上の都合により、一部画像を発表時の資料から差し替えて掲載しています。

一度に同じ路線の2つの駅が見える珍しい場所

※ 権利上の都合により、一部画像を発表時の資料から差し替えて掲載しています。

天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」

天竜浜名湖線

車両基地を見に行こう

夜の
転車台＆鉄道歴史館見学ツアー

毎月 第2土曜日に開催
19:40～20:20

ガイドと歩いて行く！ 転車台＆鉄道歴史館見学ツアー

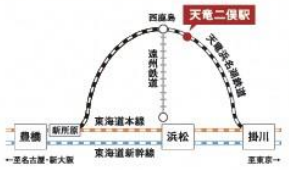
場所	天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」
開催日	毎日 予約不要 ※15名様以上の団体は要予約。
開催時間（1回約40分）	土 日 祝 1日2回 10:50～／13:50～ 月～金 1日1回 13:50～
集合場所	「天竜二俣駅」待合室 開催時間までに見学券を購入してお待ち下さい。 ※当社スタッフがご案内させていただきます。(1回約40分) ※お子様(小学生以下)の見学には保護者同伴にてお願いいたします。
ツアー料金	大人 600円 小人 300円 ※小人料金は1歳～小学生となります。(中学生から大人料金) ※団体の最低保証は大人15名分となっております。

洗って！回って！列車でGO！ 乗車体験ツアー

場所	天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」
開催日	土 日 祝 要予約 定員あり ※当日、空きがあれば先着順にて受付可能です。
受付時間	11:00～11:15
開催時間	11:30～12:10
集合場所	「天竜二俣駅」待合室 受付時間までにお越しください。 ※当社スタッフがご案内させていただきます。(1回約40分) ※お子様(小学生以下)の見学には保護者同伴にてお願いいたします。
ツアー料金	大人・小人 一律 900円 ※1歳未満の乳児は無料。 ※団体の最低保証は大人15名分となっております。
予約方法	ご予約は下記の天浜線イベント予約サイトからお申込ください。 https://airrsv.net/tenhamasen/calendar

日本の原風景に出会う旅

天竜浜名湖鉄道株式会社
TEL 053-925-2276
(営業時間 9:00～17:00)
〒431-3311 静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2
https://www.tenhama.co.jp



ガイドと歩いて行く！ 転車台＆鉄道歴史館見学ツアー 予約不要

① 天竜二俣駅 受付・見学

天浜線「天竜二俣駅」待合室に集合。見学券購入後、ガイドの案内のもとツアースタート！

② 高架貯水槽 見学

内容量70トンの高架貯水槽です。二俣線時代に走っていたSLに必要な水を溜めていました。

③ 浴場 見学

機関車の煤煙で煤だらけになった機関士さん達が、風呂場で身体を綺麗にして仕事を終えた場所です。

洗って！回って！列車でGO！ 乗車体験ツアー 要予約

① 天竜二俣駅 受付・体験

天浜線「天竜二俣駅」待合室に集合。受付後、ガイドの案内のもとツアースタート！

国登録有形文化財のホームから列車に乗車。特別に天竜二俣駅構内を移動します。

② 洗車機 体験

列車を丸洗いする巨大な洗車機の中へ入ります。巨大なプランが迫ります！

③ 転車台 乗車体験

乗ったまま、転車台の上に移動！ 回転を体験します。

2コース共通工程

④ 転車台 見学

外から転車台実演を見学します。蒸気機関車が走っていた頃は、掛川駅、天竜二俣駅、金指駅及び豊橋駅で使用されていましたが、今は天竜二俣駅のみに現存しています。

⑤ 扇形車庫 見学

総木造で庫内の柱を少なくするために力強い架構を持ちます。

⑥ 鉄道歴史館 見学

貴重な鉄道遺産がいっぱい!!

実際に使用されていた貴重な道具や資料などを展示しています。

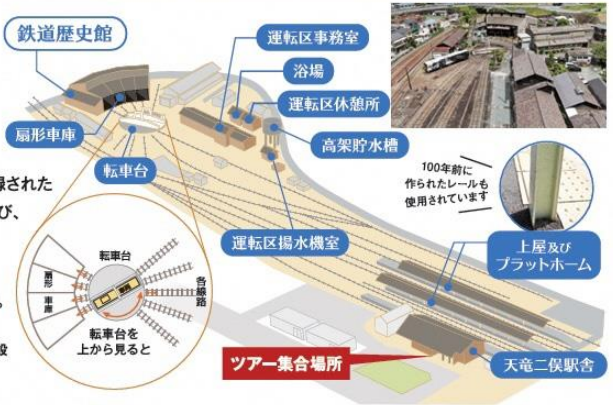
※写真は今までの歴史館です。

天竜二俣駅 大解剖

本ツアーでのみ入場いただけます

構内には、国の登録有形文化財に登録された転車台や扇形車庫等の施設が建ち並び、ノスタルジックなムードいっぱい!!

まるで昭和の世界にタイムスリップしたかのよう…。



=国登録有形文化財施設

天竜浜名湖鉄道株式会社
お問い合わせ 天竜浜名湖鉄道株式会社 営業課
☎053-925-2276
〒431-3311 静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2
営業時間／9:00～17:00

原谷駅にある長いホームベンチ

経費

- 案内人（私）にかかる経費

1時間あたり2000円×7時間=14000円

茶畑きっぷ1550円

合計15550円

- 宣伝のための費用

ポスター作製費3万円（企画を30回実施すると考え1回あたり1000円）

掛川駅と天竜二俣駅でのポスター掲示費用

（掲示1週間あたり掛川1375円+天竜二俣1210円：合計2585円）

ツアーは2週間で2回なので、掲示費用は2585円

- 合計で15550+1000+2585=19135円
- （費用が多少上振れする可能性を考慮しても）参加者から合計2.2万円回収できれば十分

ツアーの概要

- 最少催行人員10名
- 最大15名（15名ぐらいならば車両を貸切る必要がなく、案内人1人で案内可能）
- 参加費は1名につき2200円

別途で茶畑きっぷ1550円と「転車台&鉄道歴史館見学ツアー」参加費600円（小人はいずれも半額）が必要

- 暑さを考慮し、7月と8月は開催しない
- 7月と8月以外については原則、第2、第4日曜日とその前日の土曜日に開催する

目標と今後

- 最初は1か月に4回開催し、1か月に30人の参加を目標にする
- 1か月に30人の目標をクリアした後は開催回数を1か月あたり6回に増やし、1か月に60人の参加を目標にする
- 将来は鉄道巡り以外にも、天竜浜名湖鉄道で行く花見や紅葉見物のツアーも企画するほか、参加人数の上限を50人まで増やして貸切列車での開催も検討する

ご清聴ありがとうございました